

# 令和 8 年度長岡市移住体験ツアー事業運営業務 委託仕様書

令和 8 年 6 月 8 日

本仕様書は、長岡市移住体験ツアー事業運営業務について、簡易評価型プロポーザル方式による受託者の選定にあたり、長岡市が現時点で想定している業務内容を示したものである。そのため、事業効果の向上に資すると考えられる提案については、提案上限額（3,100,000 円（税込））の範囲内で本仕様書に示す内容を踏まえた上で、追加又は工夫した提案を行うことを妨げない。

## 1 委託業務名

長岡市移住体験ツアー事業運営業務

## 2 業務の目的

本業務は、新潟県外在住者で長岡市への移住を検討する者に対して、検討者一人ひとりの状況に応じた長岡暮らしを一時的に体験できる機会を提供することで長岡暮らしのイメージづくりや不安解消を後押しし、本市への移住促進を図ることを目的とする。

## 3 業務期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで

## 4 業務内容

本業務では、業務期間中 15 組（30 人程度）が参加し、参加者の状況に応じて 1 日から最大 10 日間滞在し、滞在期間中 1 組あたり 1 から 4 程度の体験プログラムを提供することを想定する。

なお、当該参加者数は目安として想定するものであり、達成を義務付けるものではない。

### （1）移住体験プログラムの募集に関する業務

以下の内容を含む移住検討に資する体験プログラムを広く募集するとともに、プログラム提供者の顔が見え、体験内容のイメージが膨らむような情報発信の素材を作成すること。

ア 長岡で住む（不動産関連事業者による長岡の住宅事情や物件探しに関する相談対応、長岡市内の賃貸物件・売買物件の見学など）

イ 長岡で働く（職業紹介事業者による長岡の求人状況や求職方法に関する相談対応、長岡市内の事業所見学（商工業・農林水産業）や業務説明など）

ウ 長岡で暮らす（ア及びイの他、子育て・教育に関する行政担当窓口での相談対応、公園・体育・文化・商工・観光施設の見学など）

エ 長岡でひろがる（ながおか市民協働センターによる市民活動団体とのマッチング相談対応など）

## (2) 移住体験ツアーの周知

新潟県外在住者で長岡市への移住を検討する者に対して移住体験ツアーに興味を持ってもらうため、事業の趣旨や概要が伝わるチラシデータを作成するとともに、そのデータも必要に応じて活用しつつ長岡市や受託者が有する既存の情報発信媒体等を活用して移住体験ツアーを広く周知すること。

## (3) 移住体験ツアーの参加者決定及び参加者との連絡調整に関する業務

長岡市移住定住センター公式LINE（以下「LINE」という。）の友だち登録者であって移住体験ツアーに参加を希望する者に対して、事前面談（オンライン又は対面）を通じて参加動機を的確に把握した上で、参加の可否を決定・通知する。

また、滞在期間中を含め参加者との連絡調整（夜間や土日祝における緊急連絡への対応を含む）をLINEを活用して行う。

## (4) 移住体験ツアーの行程調整及び体験案内に関する業務

参加希望者に対する事前面談を通じて得られた体験ニーズを踏まえ、体験プログラム提供者との調整により具体的な滞在期間中の行程調整を行うとともに、既成のプログラムで対応できないニーズに対しては市との協議も踏まえ可能な限り体験機会を提供できるよう調整する。

また、滞在期間中（フリーデー・フリータイムを除く）は、到着時及び出発時並びにプログラム体験に係る現地案内など、参加者へ必要な対応を行う。

## (5) 長岡市移住体験ツアー利用促進補助金（仮称）の利用に関する業務

本業務の利用促進を図るために長岡市が別途制定する『長岡市移住体験ツアー利用促進補助金（仮称）』を移住体験ツアーの参加希望者へ適切に周知するとともに、交付申請等の手続きに関する支援を行う。

## (6) 移住体験ツアーの業務実施報告書の作成

本業務の終了後、以下の内容を含む「業務実施報告書（A4サイズ・フルカラー）」を速やかに作成し、電子データ及び紙1部を市へ提出すること。

ア 令和8年度長岡市移住体験ツアー事業の概要（目的、実施内容）

イ 参加者から提出されたアンケートの集計・分析結果（長岡市への移住検討度の深化への寄与度、体験プログラム別の満足度調査結果など）を含む

ウ 参加者の移住検討度の深化にあたっての課題及び解決策の提案

エ 移住体験ツアーの参加者数が想定（15組30人）を大幅に下回った場合は、その原因分析を踏まえた参加者数の増加に資する改善策の提案

## 5 個人情報の取得・保護・管理等

(1) 受注者は、本業務の実施に当たって知り得た秘密を他に漏らし、または自己の利益のために利用することはできない。これは契約期間終了後も同様とする。

(2) 受注者は、個人情報の保護について十分留意し、流出・損失を生じないこと。

- (3) 受注者は、成果物（業務の履行過程において得られた記録等を含む）を第三者に閲覧及び複写させ、又は譲渡してはならない。ただし、発注者の承認を得た場合はこの限りではない。

## 6 その他

本業務の実施にあたっては、監督員との打合せを密に行い、その指示に従うこと。

- (1) 委託業務は、長岡市の指示のもとに作業を進め、必要に応じて関係書類を提出し、承認を受けるものとする。
- (2) 専門的な立場から、委託料の範囲内で事業成果を高める有益な提案がある場合は、積極的に提案すること。
- (3) その他、業務実施にあたり必要な資料等については、長岡市が所有するものであれば可能な範囲内で貸与するものとする。
- (4) 著作権をはじめ、本業務の成果品における一切の権利は、長岡市に帰属すること。
- (5) 本仕様書に明記されない事項及び仕様書の内容に疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項については、監督員と十分に協議のうえ決定するものとする。